

コラム

認知症全般知識に役立つコラム

認知症学会専門医 占部 新治先生による、「認知症全般知識に役立つコラム」です。第1～第4 金曜更新！

第7章 薬の話 認知症症状に効果があると認可されている薬

2項・ガランタミン・レミニールとリバスチグミン・リバスタッチ

② ガランタミン・レミニール

これは、アセチルコリン分解酵素阻害薬の働きをするお薬ですが、阻害する方法が競合阻害型であることでアリセプトと違っています。その他、こみいった話になりますが、ニコチン性アセチルコリン受容体に結合して陽イオンの通過性を亢進する働きも併せ持ちます。

薬が働く時間の半減期は7時間とドネペジルの70時間に比べて短いのが特徴で、そのため一日2回の服用になります。少量から4週ごとに増量して12mgを毎日2回服用で維持します。一日2回の服用は、面倒なようですが飲み忘れによる血中濃度低下が少なく、一日1回に比べて薬用効果維持には飲み忘れの危険影響が少ないと言えます。この薬も、アリセプトと同様に、過活動を引き起こすことがありますので注意が必要です

③ リバスチグミン・リバスタッチ

これもアセチルコリン分解酵素阻害薬の働きをするお薬で、阻害する方法が非競合型とドネペジルと同じ方法です。加えてブチルコリン分解酵素を阻害する働きがあり他の2剤よりもアセチルコリンの代謝を抑えます。またアルツハイマー病の進行によるブチルコリン分解酵素の増加をも抑えるため、病気が進行しても働きが効果的に働き続けます。

このリバスチグミン薬剤は嘔気が強いため、経口で服用するのではなくパッチ剤として皮膚からの吸収という方法を採用しています。お薬を飲むことが苦手な方でも、皮膚に貼るだけですので、楽に使えます。ただ、皮膚の弱いカブレ易いかたは皮膚科のお薬を使うこととなります。

このお薬は、一日一回の貼り薬です。上半身の皮膚に張るために着替えをするときに貼るのがお勧めです

一日1回で4週ごとに増量して18mgで維持します。この薬も、アリセプトと同様に精神、行動の過活動を引き起こすことがありますので注意が必要です。